

# 平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 2 月 10 日

上場会社名 ユニチカ株式会社

（コード番号：3103 東証第 1 部、大証第 1 部）

（URL <http://www.unitika.co.jp/>）

代 表 者 代表取締役社長 平井 雅英

問合せ先責任者 執行役員 経理部長 村上 正利

（TEL：(06) - 6281 - 5721）

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度： 無  
における認識の方法との相違の有無

## 2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日）

### （1）売上高

（注）金額の百万円未満は切り捨て

	百万円	%
16 年 3 月期第 3 四半期	155,065	-
15 年 3 月期第 3 四半期	-	-
（参考）15 年 3 月期	233,725	-

（注）1. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

2. 当期より四半期業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

### [ 補足説明 ]

当第 3 四半期は、設備投資等に回復の兆しが見られたものの、個人消費回復の遅れや円高の進展などの不安定要因により、国内景気は依然回復感のない状況が続いております。このような中、当社グループは中期経営計画「飛躍 0 5」に掲げる事業力強化・コストダウン施策に取り組んでまいりました。その結果、第 3 四半期累計の売上高はほぼ計画通りとなりました。

当第 3 四半期の営業概況について高分子事業はフィルム分野が好調な需要を背景に売上高を拡大し、樹脂分野は差別化品の拡販が進むなど、総じて堅調に推移しました。環境事業は受注競争激化の影響を受け、厳しい状況となりましたが、機能材事業ではガラス関連分野が健闘しました。繊維事業ではポリエステル差別化系やユニフォーム分野が引き続き好調に推移しました。生活健康その他事業では、耐火スクリーンが引き続き好調に推移しました。また、ハナピラタケ、セラミドなど生活健康分野については販売拡大へ向けて積極的な事業活動を推進しております。

尚、営業利益、経常利益とも計画通り推移しております。

### （2）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は発生しておりません。

## 3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日）

業績は、予想どおり推移しており、業績予想の修正はありません。

以 上